



# ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 40

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料を紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問 戦時中、敵性語の廃止で、野球用語がどのように改名されたか。

答 「敵性語」「野球用語」「日本語化」をキーワードとして検索してみます。

例)  →  →  →  (14件該当)

いちばん記述が多かったものは、

◎『昭和二万日の全記録 ⑥』(開架大型 210.7 Ko19 6)

\*「昭和18年3月に日本野球連盟が規則委員会で、用語の日本語化を決定」との記載があったので、この時期の野球関係の雑誌等も調べてみましたが、当館で所蔵しているものは、ほとんどが戦後のものでした。

◎『「戦前・戦中」用語ものしり物語』(開架 210.75 Ki88)

検索結果には、ヒットしませんでした。

◎『戦争とくらし百科 ④』(開架児童 210.7 Sa67 4)にも“戦争にうばわれたスポーツ”として、少し記述がありました。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。  
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。  
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

10月初め頃だったか、現代史に強いH教授から真夜中に電話があり、「NHKがね、真珠湾攻撃関係の凄い資料が出たと言ってきたのだが、どんなものだと思うかね」というので、概要を聞くと、「ああ、あれだ」と思い当たるものがありました。7月の古本入札市、七夕会で出品されていた資料で、なかなか面白い資料でした。1～2点珍しい資料が有り、見たことのない写真も数枚有りました。入札の最低価格が10万円でしたが、一括で35万円程度の価値はあると見たので、入札しましたが、惜しくも僅かの差で手に入れられませんでした。あと数万円のことで、残念に思っていました。

その資料がNHKに持ち込まれたと言うのです。

「ああ、それは40万くらいで業者が落札したもので、なかなか面白い資料ですよ」と言うとH教授は「へー!!。そりゃ本当かね」というので、「どうしてですか」と聞くと。「それね、古本屋が580万円で売りたいと言っているんだよ。もし買ってくれるなら、もう目録に載せないけれどとっているが」と。今度は私が「へー!!」と驚きました。私も神田の古本屋さんのお世話になること40数年ですが、あまり聞かない話です。まあ、2～3千万くらいで買ったものを1億で売った話もあるくらいですから、私は本自体に価値があれば値段はいくら付けても構わないと思っていますが、チョットずれてるなあ。と言うのが感想でした。

結局NHKは買わずにニュースで紹介だけしました。資料は11月の神田古本祭りの目録に1ページを使って掲載されました。無論580万円です。これを出した古本屋さんは、文芸書では一流の老舗ですが、こういう資料はあまり知らなかったのでしょう。神田には専門店があるのですから、一言「これ、どのくらいのものかねえ」と相談すれば、「好いところ5～60万かなあ」程度のアドバイスがあったと思うのですが。古本屋さんも難しい商売だなあ。と改めて思ったものでした。(午睡)



—図書室から—

秋の爽快さを楽しむ間もなく、冬の寒さが到来してしまいました。気がつけば今年も残りわずか。年賀状、忘年会、掃除etc…、忙しい忙しい!

\*コピー機のご利用には、なるべく小銭をお持ちください。

カウンターにて両替に応じておりますが、一度に多額の両替ができませんので、なるべく小銭をご用意くださるようお願いいたします。(高額な場合は、1階受付にてお願いします。)

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 40

2002年11月21日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1